



もうすぐ開催！

茨城県レッドデータブック 絶滅危惧種 指定植物

# “オオウメガサソウ” 特別公開ガイドツアー

～ 森の妖精を育んだ貴重な環境「ひたちなか自然の森・植物保護区」特別開放～

6月13日(土)～21日(日) 15日除く



森の妖精  
“オオウメガサソウ”に

会いに来ませんか？

平成 20 年 6 月 10 日撮影

“オオウメガサソウ”は、茨城県のレッドデータブックでは絶滅危惧種に、環境省のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されている大変貴重な植物です。また、茨城県では、ここひたち海浜公園と東海村の一部で生育が確認されているのみ。その他国内では青森県と北海道の一部に生育している植物です。

その“オオウメガサソウ”の開花に合わせて、**6月13日(土)～21日(日)**(休園日の15日(月)を除く)の間、その自生地である「ひたちなか自然の森・植物保護区」を開放し、ガイドツアーを開催します。

ひたち海浜公園のイメージと言えば、スイセン、チューリップ、ネモフィラ、コスモスといった大面積でご覧いただけるお花を想像する方が多いと思いますが、オオウメガサソウや前回(平成 21 年 5 月 28 日)お知らせした海浜植物のハナハタザオなど、レッドデータブックに記載されるような植物が生息する貴重な自然が残されています。今回は、通常は保護のために一般の方の立ち入りを禁止しているエリアへのご案内となりますので、是非、この機会に海浜公園の知られざる魅力を感じていただければと思っております。

## お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 6 0 5 - 4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・<sup>こあくつ</sup>小堆・鈴木  
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339

お客様問い合わせ電話番号(029)265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

# “ オオウメガサソウ ” 特別公開ガイドツアー

森の妖精“ オオウメガサソウ ” を育んだ貴重な環境  
「ひたちなか自然の森植物保護区」特別開放



オオウメガサソウ

## 1. 目的

野生植物の保護・育成のため、通常は来園者の立ち入りを禁止している「ひたちなか自然の森植物保護区」では、オオウメガサソウをはじめ、ウメガサソウ、イチヤクソウ等の稀少植物がまもなく開花期を迎えます。

開花に合わせて、このエリアの貴重な自然環境をより多くの方々に観ていただき、自然への関心を深めていただくことを目的として、期間限定で植物保護区を特別開放し、ガイドツアーを実施します。

**2. 期間** 平成 21 年 6 月 13 日(土)～6 月 21 日(日)  
但し、休園日の 6 月 15 日(月)を除く

**3. 定員 他** 各回定員 30 名 参加料無料

**4. 受付** 当日申込み  
「ひたちなか自然の森」入口

**5. 協力** 茨城生物の会



ウメガサソウ



イチヤクソウ

## ガイドツアールート



「ひたちなか自然の森」入口に受付テントを設置しますので、受付後、ガイドに従って進んでいただきます。「茨城生物の会」の方々の協力により、定期的に1日7回(土日は8回)、所要時間40分のガイドツアーを行います。

ガイドツアーの催行人数は各回30名です。

なお、特別開放区域への立入りは、同エリアへの負担軽減を考慮して、一度に入ることができる人数を30名に制限していますので、状況によりお待ちいただくことがあります。

	時間	備考
	10:00 ~ 10:40	
	10:50 ~ 11:30	
	11:40 ~ 12:20	
	12:30 ~ 13:10	
	13:20 ~ 14:00	
	14:10 ~ 14:50	
	15:00 ~ 15:40	
	15:50 ~ 16:30	土日のみ

(表1) ガイドツアー実施時間

## トピックス ~森の妖精を育む貴重な環境「ひたちなか自然の森」~

「ひたちなか自然の森」は、面積約12haのアカマツを主体とする森で、かつては人々が山に入り、枝や落ち葉を採って燃料にしていた「里山」として、人と自然とのかかわりの中で保たれていた森です。

この既存の植生を活かして整備した「ひたちなか自然の森」の林床には、ハイゴケ(コケ類)やハナゴケ(地衣類)などが多く、これは、林内が適度な湿度に保たれているからだと考えられます。特にオオウメガサソウはここが世界の南限地であり、本公園では、このような植物が見られる貴重な自然環境を保全していきたいと考えています。



開花：6月中旬～

# オオウメガサソウ

イチヤクソウ科草状小低木

オオウメガサソウとは

北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県と国営ひたち海浜公園など、ごく限られた場所に自生しています。

主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壤に地下茎を伸ばして生育し、高さ 10cm ほどの茎の先に、直径 1cm の淡いピンク色の花を咲かせます。

環境省レッドデータブックでは**準絶滅危惧種**、茨城県レッドデータブックでは**絶滅危惧種**に指定されている植物であり、国営ひたち海浜公園が世界の南限地となっています。



名前の由来

梅の花に似た花を咲かせるため「ウメガサ」の名が付き、よく似た「ウメガサソウ」より大きいことから「オオウメガサソウ」と名付けられました。例年6月から7月の梅雨の時期に花が咲きますが、ひとつの個体が花をつけるようになるまでには5～7年かかると言われています。



平成 21 年 6 月 7 日撮影